

## 原水爆禁止 2020 年世界大会の成功めざす運動

2020 年 2 月 17 日

原水爆禁止世界大会実行委員会第 85 回総会

広島・長崎の被爆 75 年を迎えることし、原水爆禁止 2020 年世界大会は、「被爆者とともに — 核兵器のない平和で公正な世界を」をテーマに、8 月 2 日から 9 日まで広島と長崎の二つの都市で開催されます。

大国の横暴を許さず、核兵器の廃絶、平和、地球環境、ジェンダー平等など、若ものと市民の行動の世界的拡がり、核兵器禁止条約に参加し、先頭に立つ日本への世論の高まりの中で、2020 年世界大会の成功は、核兵器のない世界を実現させる上でも、世界の期待に応え、核兵器禁止の先頭に立つ日本を実現する上でも、決定的に重要な意義を持っています。

核兵器禁止条約の意義や国内外の情勢、運動の課題と展望など学ぶことを基礎に、今日から 8 月まで、全国の地域、職場、学園で以下の運動にとりくみ、多くの人々の参加で大会を成功させましょう。

1、核兵器全面禁止・廃絶を求める声と行動のうねりをつくりだしましょう。「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名(ヒバクシャ国際署名)」を、4 月の世界大会・ニューヨーク、8 月の 2020 年世界大会、10 月の署名国連提出(最終集約は 9 月末)など、目標と節目を設け、宗教者をはじめ幅広い共同、地域や自治体ぐるみにとりくみなど国民的な運動に発展させましょう。

2、広島・長崎の被爆の実相を学び、知らせることは、原水爆禁止運動の原点です。自治体や教育委員会、地域の様々な団体や報道機関などにも協力を申し入れ、被爆写真や原爆の絵の展示会をすべての市区町村で開催しましょう。被爆組写真を世界大会・ニューヨークや 8 月のヒロシマ・ナガサキデーにむけて、世界各地へ贈りましょう。地域の被爆者や被爆者団体と協力し、被爆体験の聞き取り・語り伝えなど、被爆者援護・連帯の輪を広げましょう。未来を担う若い世代が被爆の実相に触れることを重視しましょう。

3、唯一の被爆国であり、戦争放棄の憲法を持つ国として、核兵器禁止条約に参加し、核兵器全面禁止・廃絶の先頭に立つ日本を実現させましょう。核兵器禁止条約への参加が国政での共同の要求となるよう、働きかけを強めましょう。日米核密約の破棄、非核三原則の厳守・法制化、アメリカの「核の傘」から離脱、朝鮮半島の非核化や平和体制づくりに貢献する日本を実現させましょう。

4、安倍政権による「戦争する国づくり」、9 条改憲、大軍拡をストップさせましょう。「オール沖縄」の運動に連帯し、普天間基地撤去と辺野古への新基地建設中止を求めましょう。オスプレイの全国展開などにみられる米軍基地強化や、原子力艦船の寄港に反対しましょう。

5、間近に迫った原水爆禁止世界大会・ニューヨークの取り組み、代表派遣、国連と NPT 再検討会議への署名提出の行動を成功させましょう。

6、国民平和大行進は、核兵器の禁止という全国の草の根の声を集め、広島・長崎につなぐ国民的行動です。国際青年リレー行進に呼応してすべての都道府県で青年がリレー行進しましょう。すべての自治体に賛同・協力を求めて事前に訪問しましょう。5 月から 8 月まで全国を歩く 2020 年原水爆禁止国民平和大行進の 11 幹線コースと網の目行進を成功させましょう。すべての市区町村での行進を実現しましょう。

7、東京電力福島第一原発事故の被災者支援、原発ゼロと再生可能エネルギーへの転換をはじめ、平和と命と暮らしを守る全国の運動と連帯し、行動しましょう。

8、原水爆禁止 2020 年世界大会の成功へ、国際連帯と全国的な草の根行動の新たな出発点として、2020 年 3・1ビキニデー集会を成功させましょう。大会への代表派遣をはじめ、世界大会・ニューヨーク、国民平和大行進など、世界大会までのあらゆるとりくみを成功させましょう。